

地域を守る取り組みについて、説明してもらいたい。また「食と農」を軸とした地域活性化への取り組みについて詳しく教えてほしい。

**A** ①JA食農教育の実践②学校給食への地場産農産物の利用促進③健全な食生活と食文化の継承④食と農の仲間づくり等の目標を掲げ実践しております。学校農園を支援し、子供たちが体験を通して農業の魅力や苦労を知ってもらう機会としております。また食文化の継承では、料理法を教えていただき、地域の行事食などを保存継承しております。



▶生活事業で取り組む学校農園

**Q** 地産地消に関連して、管内の学校給食へはどれくらい使用されていますか。

**A** 能代市学校給食では米1ヵ月あたり4,500kg、5,000kg、藤里町では400kg使用されています。野菜については、22年度秋より農産

物直売所からジャガイモ・ニンジン・ネギ・キノコなどの納品が始まりました。

### 信用事業

**Q** 今年度から法人を立ち上げ、今後も機械設備の取得が必要で融資をお願いしたいが、初年度で実績がなく思うようにいかない。もう少し融資の門を広げてほしい。

**A** 現在、農林中央金庫内に設置となつて「県域農業金融センター」と連携しながら集落営農・農業法人・担い手等をメイン強化先と位置づけ、相談機能の強化・金融ニーズの発掘を中心に取組を実施しているところでありますので、今後もJAにご相談下さい。



▶東支店運営協議会

### 福祉介護事業

**Q** 居宅介護の介護申請や手続をJAで無料でやってくれるのでしょうか。

**A** もちろん無料でやります。JAにはケアマネージャーが3名おり、ご連絡いただければ介護申請や更新の代行手続を行います。

**Q** 介護でショートステイは考えていないのでしょうか。また、介護施設の拡充等は計画にあるのでしょうか。

**A** ショートステイ、グループホーム等、更なるサービスの充実や施設の拡充の必要性については認識しております。施設整備については、今後検討してまいります。



▶いなほの里でのケアサービス

### 総合部門

**Q** JA合併構想はどうなっているのか。合併は組合員にとって有利と考えているのでしょうか。

**A** 秋田県中央会が提案する全県5JA構想に基づき、常勤役員レベルでの検討・協議を重ねております。枠組みや現状分析等含め、組合員のための合併を最優先に検討してまいります。

**Q** 購買貸越通知書の農機修理代と部品の内訳が分かりづらい。内訳明細書と一緒に通知してほしい。

**A** 当月の購買貸越通知書と明細書と一緒に届くよう配慮してまいります。

#### 平成22年度集落座談会出席状況

平成23年3月9日～24日(8日間)  
組合員戸数：平成23年2月末現在

支店名	組合員戸数	出席者数	出席率	前年度
のしろ東支店	1,429	131	9.2%	14.1%
のしろ北支店	1,085	121	11.2%	21.4%
二ツ井支店	1,372	106	7.7%	7.5%
藤里支店	751	69	9.2%	13.4%
合計	4,637	427	9.2%	13.7%